

《IX財務》の記述及び資料等について

【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備ください。

中・長期計画は、キャンパス整備計画等個々に進められているが、これらを踏まえた総合的な財務計画書の完成には至っていない。財務部では、理事会および各諮問委員会から立案された事業計画に基づき、各予算部署と調整を図り、「中・長期財務計画」を作成していきたい。

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続を簡潔に記述して下さい。

予算申請については、過去の実績を参考にしながら、積算根拠・単価・数量を明確にする「積み上げ方式」で、申請部課が申請する。また、メリハリをつけた配分のために毎年予算編成方針を発表し、これに基づき各部課が申請する。査定については、理事長・財務担当理事を中心に、財務部経理課と関連課で担当する。この作業に先立ち、300万円を越す新規事業については、新規事業計画書を提出させ、予算編成方針作成の資料としている。また、「主管部制度」を採っており、人件費関係は人事部、建設・修繕・備品・リース・保守清掃・印刷は管理部というように、要望を主管部へ申請し、査定が行われている。申請については、理事会で審議、承認する。

(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記してください。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備ください。

決定予算の伝達方法ー予算決定通知書の配布をもって伝達している。

(予算執行の経理、出納業務の流れについて)

予算の執行は、短大部門における申請者が執行依頼伝票（支払申請書）に必要事項をデータ入力し、上長の承認を経た後、経理課にて受け付け、審査の上、経理課にて出納を行っている。

学校法人創価大学経理規程、学校法人創価大学勘定科目細則、学校法人固定資産及び物品調達規程、学校法人創価大学固定資産及び物品管理規程、学校法人固定資産減価償却実施細則

(4) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

公認会計士による監査実施状況（平成 16 年度～18 年度）

年	月	日	概 要	備 考
16	4	8	平成 15 年度預金実査、棚卸監査	
16	4	22 ～ 28	平成 15 年度期末監査（理事会閲覧、決算整理、基本金など 勘定科目別残高検証）	
16	5	13 ～ 14	平成 15 年度計算書類チェック	
16	10	25 ～ 26	平成 16 年度予備調査	
16	11	8～ 12	平成 16 年度第 1 回期中取引検証（4～9 月取引記録の検証）	
17	2	1～ 4	平成 16 年度第 2 回期中取引検証（10～1 月取引記録の検証）	
17	3	30	平成 16 年度現金実査	
17	4	8	平成 16 年度預金実査	
17	4	21 ～ 27	平成 16 年度期末監査（理事会閲覧、決算整理、基本金など 勘定科目別残高検証）	
17	5	16 ～ 17	平成 16 年度計算書類チェック	
17	10	6～ 7	平成 17 年度予備調査	
17	11	7～ 11	平成 17 年度第 1 回期中取引検証（4～9 月取引記録の検証）	
18	1	31 ～ 2/3	平成 17 年度第 2 回期中取引検証（10～1 月取引記録の検証）	
18	3	30	平成 17 年度現金実査	
18	4	20 ～ 26	平成 17 年度期末監査（理事会閲覧、決算整理、基本金など 勘定科目別残高検証）	
18	5	16 ～ 17	平成 17 年度計算書類チェック	

(5)財務情報の公開は今までどのように行ってきたか。また私立学校法第47条第2項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。

本学においては、財政のアカウンタビリティを果たすために、財務情報を定期的に学内、学外へ公開してきた。対象となるステークホルダーにより、その方法と内容は以下のとおりである。

- ① 大学教職員には、大学で作成している「創価大学ニュース」を全員に配布しているが、この中で要約ではあるが消費収支計算書・資金収支計算書・貸借対照表を掲載し、大学全体の収支状況を説明している。
- ② 5月の理事会（決算理事会）終了後、時期を見て、財政状況分析報告会（参加は自由。講師は外部の公認会計士が客観的に分析し解説）を開催し、2006年度で5回目を迎える。更に職員には課長・部長会の席で、予算・補正予算・決算の説明をおこなっている。
- ③ 卒業生・父母会・寄付者へは前述の「創価大学ニュース」を送付し、もって説明に代えている。キャンパスクラブに加入の受験生へも配布している。
- ④ 学生には、キャンパス内の各校舎入り口に自由に「創価大学ニュース」が取れるコーナーを設置している。また、全学協議会（学生・教員・職員・理事会の代表で構成）で理事長が説明している。
- ⑤ 社会一般へは公式ホームページに掲載し、公開している。また、一般の経済雑誌において私学の経営特集記事が掲載される機会があり、資料提供の申し出があるが、積極的に対応している。

(6)寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備ください。

資産運用収入の増加にも努力していくことで安定的な収入の増加を図りたい。運用規程に基づき安全性を重視しながらも、効率的な運用を行っていきたい。長期定期預金や国債・公社債を中心に、加えて長期円建て外国債券など、運用の幅を広げていく。

(7)寄付金・学校債の募集を行っていればその概要を記述して下さい。なお寄付金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備ください。

日常的な募集は、大学支援者、また保護者に対し行っている。2001年度から、件数・金額とも順調に増加しており、2005年度は周年寄付事業により、卒業生、会（校）会からも多額の寄付が寄せられた。

学校債の募集は行っていない。

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(1) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

(2) 平成19年3月31日現在の貸借対照表の概要を、別紙様式2にしたがって作成し、添付して下さい。

(3) 財産目録及び計算書類（資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細票・借入金明細表・基本金明細表）について、過去3ヶ年（平成16年度～18年度）分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

(4) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の短期大学における教育研究経費比率（消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率）を、小数点以下2位を四捨五入し1位まで求め記述して下さい。

教育研究経費比率（平成16年度～18年度）

	16年度	17年度	18年度
教育研究経費支出 (a)	289,612 千円	313,051 千円	298,082 千円
帰属収入 (b)	1,091,006 千円	1,204,184 千円	1,067,146 千円
教育研究経費比率 (a) / (b)	26.5%	26.0%	27.9%

【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

(2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

- ① 火災等の災害対策
- ② 防犯対策
- ③ 学生、教職員の避難訓練等の対策
- ④ コンピュータのセキュリティ対策
- ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策
- ⑥ その他

① 火災等の災害対策

本学では、学内の倉庫や厨房、会議室などに「火元取締責任者」として、職員の配置を決め、担当の施設の総点検を定期的に行っている。また、日常的に施設で作業をしている清掃業者及び管理者とも、職員の担当者が適宜、打合せを行い、火災等につながる危険な個所や状況が見当たらないか、情報の交換に務めている。

更に、毎年度の前期最終日を原則として、「全学防火訓練」を実施し、教職員・学生の全員参加で、緊急放送訓練・通報訓練・初期消火の訓練等を実施、また、同様の訓練を学生寮の2箇所でも実施し、防火対策の一環としている。

②防犯対策

本学は短大という性格上、特に防犯対策には努めている。施設の全域に通報ボタンを設置し、不審者に遭遇したり、危険を感じた場合は、直ちに事務室に通報できるよう、体制を整えている。また、学校法人の方針のもと、事務室・図書館の各窓口に、緊急防犯システムを設置し、短大外の防災センターにも直ちに通報できるようになっている。また、全短大生には防犯ブザーを支給し、常に携行するよう、ガイダンス等で指導するほか、年度始め・学期始めの全学ガイダンスでは、「防犯・交通安全講習会」を実施し、八王子市の警察署より講師を招き、防犯に対して具体的な学習ができるよう務めている。

③学生、教職員の避難訓練等の対策

上記①に記載。

④コンピュータのセキュリティ対策

学校法人として、情報システム部が対応している。

⑤省エネ及び地球環境保全対策

学校法人として「省エネ委員会」が設置されており、短大の職員も委員として参加している。毎週の月曜日・水曜日には、全教室の点検と全館放送で節電の呼びかけを行うなど、運動を展開している。更に、定期的な「節電キャンペーン」を全職員の担当で行い、実態の調査や学生への声掛けも行っている。短大は、学校法人の中では、節電が励行されているとの評価を得ている。

〈添付資料〉

1. 資金収支計算書・消費収支計算書の概要（過去3ヶ年）
2. 貸借対照表の概要

〈参考資料〉

1. 財産目録及び計算書類（過去3ヶ年）
2. 資金等の保有と運用に関する諸規程等
3. 寄付金・学校債の募集についての印刷物等
4. 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程、財務諸規程等